



第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	総合	『しくみ』をつくる・運営する		施策に関連するSDGs											
施策	20	協働・コミュニティ													
目指すまちの姿	地域住民がコミュニティで気軽に集い、交流と助け合いがあるまち														
	地域コミュニティ機能の低下や市民ニーズの多様化・高度化が進んでおり、個人の努力や行政だけの取組ではなく、あらゆる分野で市民、地域、企業、団体等、多様な主体と行政が気軽に集い、交流する場があり、助け合うことができる協働によるまちづくりを推進します。														
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)		目標値 (R14)		備考								
	市民公益活動団体数		62団体		80団体		泉南市HPに掲載する市民公益活動団体数とする。								
	進捗状況														
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考			
	目標	64	66	68	70	72	74	76	78	79	80				
実績	63	62													
達成率	98.4%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
達成度	A	A													
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価			
総合-20-① 市民協働推進事業【行政経営部】 総合-20-② ボランティア・NPO促進事業【行政経営部】 総合-20-② 市民交流センター管理運営事業【行政経営部】												【行政経営部】 取組① 令和6年度は初めての取組として、市民まちづくりワークショップを実施した。泉南市に関わる様々な団体組織・事業主など様々な市民がワークショップを通じ意見交換をすることで、“市民が求める市の将来像について”多様な意見を得ることができた。市民のまちづくりへの参画について、より多くの意見が得られるよう翌年度以降も継続して開催を検討していく。 取組② 地域コミュニティ活動の主体となる区長連絡協議会や泉南市ABO委員会の活動を通じ、その活動を支援することで組織内の交流を深めるとともに、市内の他団体と共催事業を実施することで、組織外との交流を深め、担い手の発掘や人材の育成や確保について関係団体と共に検討していく必要がある。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 20 協働・コミュニティ		新規		指標名	市民公益活動団体数													備考
○ 主な取組 ① 市民参画・協働の推進		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位			
事務事業名 市民協働推進事業		ソフト	○	款項目	目標	64	66	68	70	72	74	76	78	79	80		団体	
事業に関連するSDGs		ハード		細目	実績	63	62											
<事業概要> 泉南市自治基本条例に基づき、住民自治の観点から、市民の自主性、自立性を高めながら、市民と行政が協働して自立したまちづくりを実現するため、泉南市市民協働推進指針を基に市民協働の仕組みづくりを構築する。		市単独	○	06-市民協働推進事業		達成率	98.4%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
				(関係法令・市条例・計画等)		達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 市民協働推進事業 ・市民まちづくりワークショップを実施した。(全3回延べ62人参加) ・市ウェブサイトにて市民公益活動団体の情報提供を行った。(令和5年度63団体→令和5年度62団体) ・市民協働推進事業については、予算・講師日程について調整ができず、実施することができなかった。(0回)																
事業の財源 決算額 2,438千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,253千円 決算書ページ 165ページ 一般財源 185千円																
職員数/人件費 正職員 0.20人 正職員以外の その他職員 0.00人 1,809千円																

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価


方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> 令和6年度の市民協働啓発講座については、講師選定に調整が出来ず、開催することができなかった。市民協働に関する活動を行っている組織などの情報がまだまだ少なく、講師謝礼等の予算面も含めて調査の上、実施する。 市民まちづくりワークショップについては、初めての取り組みであったことから、募集や周知などの様々な課題があったが、開催する事で、市政・まちづくりに非常に強い関心を持った市民の方が居られたことから、引き続き開催する事とした。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 市民協働啓発講座については、テーマ選定・講師依頼スケジュールの見直しを行う。 市民まちづくりワークショップについては、市民が集まり意見交換を行う場であることから、庁内の様々な事業について調査を行い、ワークショップの手法で実施するのであれば、課の所管事業に関わらず部を横断して開催する様なテーマで開催する方向で検討していく。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 市民協働啓発講座については令和7年度の結果を踏まえ、引き続き実施する。 タウンミーティングについては次年度以降も実施する方向。次年度以降の実施方法については参加者アンケートを踏まえ、時間・場所などの開催方法について、より参加者のニーズに応えるべく検討していく。	備考
---	--	---	-------------------------------	---	---	----

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 20 協働・コミュニティ		新規		指標名	市民公益活動団体数											備考				
○ 主な取組 ② 地域コミュニティづくりの推進		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
事務事業名 ボランティア・NPO促進事業		ソフト	○	款項目	2	1	9	目標	64	66	68	70	72	74	76		78	79	80	団体
事業に関連するSDGs		ハード		細目	08-ボランティア・NPO促進事業			実績	63	62										
<事業概要> 地域・社会の様々な課題を解決するため、市民ボランティア団体・NPO法人などの市民公益活動団体の活動を促進するとともに大阪府から事務移譲を受けたNPO法人の設立認証に関する事務を行う。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	98.4%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	
		泉南市自治基本条例・泉南市市民協働推進指針			達成度	A	A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・市ウェブサイトで市民公益活動団体の情報提供を行った。(令和5年度63団体→令和6年度62団体) ・市民協働啓発講座については、予算・講師日程について調整ができず、実施することができなかった。(0回) ・市内に主たる事務所をおく各NPO法人について、所轄庁業務に係る相談・設立相談等を行った。		事業の財源 決算額 国庫支出金 0千円 府支出金 25千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 165ページ 一般財源 0千円		職員数/人件費 正職員 0.20人 正職員以外の その他職員 0.00人 1,809千円	
--	--	---	--	--	--

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

↑
方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> NPO法人への法人運営業務(書類提出等)について、書類提出時に指導・相談を行う機会が増えている。 所轄庁への設立相談を経ずに、法人設立を行う法人が増えており、設立後の法人運営に関する業務を把握できていないケースがあり、法人へ来庁を求めることで、法人側への負担が増えている。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 引き続き、法人への指導・相談業務を行う	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考
			事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 引き続き、法人への指導・相談業務を行う

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 ^{※※} 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 20 協働・コミュニティ		新規		担当課名	人権推進課		指標名	市民交流センターの利用者										備考		
○ 主な取組 ② 地域コミュニティづくりの推進		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 市民交流センター管理運営事業		ソフト	○	算	款項目	2	1	13	目標	11,100	11,150	11,150	11,160	11,160	11,170	11,170	11,180	11,180	11,200	人
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	02-市民交流センター管理運営事業		実績	14,096	13,974											
<事業概要> 市民交流センターの利用者間の繋がりを深め、地域のコミュニティの場として充実を図る。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率	127.0%	125.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
				泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン		達成度	A	A												

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 市民交流センター開館日：月～金 9時～21時（土～17時半） 貸館業務：利用者13,974人 ふれあいだより発行（毎月1回600部） 1. 今後の館の利用方針やあり方を検討するため、おしゃべり会を立ち上げ、館利用者と現状の課題等について話し合いを行った。 2. 貸館・講座などの来館する利用者の安全・安心な利用を図るとともに、市民交流センター内の清掃、設備などの維持管理を行った。 ゴミ収集・電気工作物保安管理・消防設備点検・防火対策物定期点検・夜間管理業務委託料 トイレ改修等修繕料、エアコンの移設等																	
事業の財源 決算額 6,439千円 国庫支出金 0千円 府支出金 507千円 市債 0千円 その他 181千円 決算書ページ 177ページ 一般財源 5,751千円																	
職員数/人件費 正職員 0.39人 正職員以外の その他職員 0.30人 4,584千円																	

令和8年度 実施計画
 →令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定


評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 来館者数の増加を目指し、地域住民や利用団体との連携により、目標以上の市民等に当館を利用いただくことができた。 また、エアコンの移設を4部屋で行うことができ、利用者にも快適に利用していただくことができた。 当館にはエレベーターがないため、階段の昇降に不自由を感じる利用者も多く、2階大会議室の利用から、1階の和室に変更する団体もあった。 あわせて、通常のセンター管理業務についても、各業務を滞りなく実施することができた。 引き続き、さまざまな人権啓発・地域コミュニティの活動拠点として利用者数を増やす取組を継続する必要がある。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> エレベーター設備がないため、2階の貸室使用に不便を感じる利用者が多いため、できるだけ1階のスペースを有効に活用し、可能な限り創意工夫を凝らし、安全・安心に利用していただけるよう取り組んでいく。 また今後の市民交流センターのあり方等について検討していくために、引き続き利用団体の方々や地域住民等との話し合いを通じて、利用者や市民ニーズを把握するなどし、公共施設等個別施設計画で記載した実施計画を策定する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 公共施設等個別施設計画では、令和7年度末までに隣保館機能の今後のあり方を検討した実施計画を策定し、その後は他の施設との複合化や、現状のセンターの今後についても検討を行う。	備考
----------------------	--	---	---	-------------------------------	---	---	----

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	総合	『しくみ』をつくる・運営する	施策に関連するSDGs										①インナープロモーションの推進
施策	21	シティプロモーション											
目指す まちの姿	市民がまちへの愛着や誇りを持ち、魅力にあふれ、持続的に発展していくまち												②アウタープロモーションの推進
	市民のまちへの愛着や誇り(シビックプライド等)を醸成するとともに、市内外の人々が定住したいと思える魅力を高め、効果的に発信することで「選ばれるまち」として持続的に発展していくことができるよう、シティプロモーションの充実に取り組みます。												
施策に関する 成果指標	指標項目			基準値(R3)			目標値(R14)			備考			主な取組 ◇市外への情報発信を強化することで本市のブランドイメージを定着させ、まちの総体的な価値を高めます。 ◇誘客連携イベント等によってにぎわい(関係人口・交流人口)を生み出し、認知度を向上させ、経済活動の活性化を促します。
	定住意向			64%			67%			※第6次泉南市総合計画にかかる市民意識調査より『住み続けたい』と回答した人の割合			
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考	
	目標	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	66.9	今後、DXの推進等により簡便に市民意識調査が実施できるようになった場合、年次ごとの目標値を設定する。	
	実績	—	53.0										
達成率	—	82.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	—	A											
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価	
総合-21-① 広報紙等作成発行事業【成長戦略室】 総合-21-①、② ウェブサイト等運営管理事業【成長戦略室】 総合-21-② シティプロモーション推進事業【成長戦略室】 総合-21-② 万博推進事業【成長戦略室】 総合-21-② 誘客連携による地域活性化事業【成長戦略室】												【成長戦略室】 取組① 広報紙においては、シビックプライドの醸成を目的に人やモノにスポットを当てた特集記事を掲載し、市内外への露出が増えるよう公共施設だけでなくショッピングモール等への配架を実施した。また、QRコードを多用し、市のウェブサイトへの誘導に努めた。 取組② 令和6年度はターゲットを明確にした誘客グッズを数種類製作し、機会に合わせたプロモーションを実施しほぼすべてのグッズを活用できた。令和7年度はファミリー層をターゲットにした課題を踏まえグッズの製作を検討していく。 また、泉南ロングパークをフックとしたイベントを実施してきたが、令和7年度で交付金が終了することを受け、これまでの実績を踏まえた令和8年度以降の誘客の仕掛けを検討してきた。令和6年度作成した計測ツールを活用し、より効果の高いイベント開催を検討する。 SNSにおいては、ノベルティ等を活用し市外フォロワー獲得に努め、市の施策やイベント情報等を、各種SNSの特徴や対象者を考慮した形で随時発信した。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 21 シティプロモーション		新規	担当課名	ふるさと戦略課			指標名 「広報せんなん」に関するアンケート調査(広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合)										備考				
○ 主な取組 ① インナープロモーションの推進		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和6年度から指標を把握できるアンケート調査を実施する。 ・数値については2年目以降実績に応じて見直す。		
事務事業名 広報紙等作成発行事業		ソフト	○	予算	款項目	2	1	3	目標	80	80	80	80	80	80	80	80	80		80	%
<事業概要> 広報紙発行規則に基づき、月に1回「広報せんなん」を配布する。 広報紙を通して市政情報を広く市民の方に知ってもらう。		ハード			細目	01-広報紙等作成発行事業			実績	-	34										
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	-	42.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	
		泉南市広報紙発行規則、泉南市広報紙発行規程						達成度	-												

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1 広報紙等作成発行事業 ・「広報せんなん」を通して、市民にまちへの愛着や誇りの醸成に繋げるため、令和6年5月号から人やモノにスポットを当てた特集記事を掲載した。 ・広報せんなんを広く周知させるため、公共施設だけでなくショッピングモール等への配架を実施した。 ・内容やレイアウトの工夫を図り、ページ数を28ページから24ページに4ページ削減した。またその削減効果をもって、読みやすい広報紙とするため、カラーページを現行の2ページから8ページに増やし、他のページを白黒から2色印刷とした。 ・市政に対する関心や市への愛着を図るため、「広報せんなん」に関するアンケート調査をR7.2に実施し、広報紙など市から提供される情報に満足している市民の割合を把握した。													
事業の財源 決算額 23,080千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,036千円 決算書ページ 154ページ 一般財源 21,044千円													
職員数/人件費 正職員 0.50人 正職員以外の その他職員 0.00人 4,523千円													

令和8年度 実施計画
⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3 <成果・課題> ・広報紙を毎月読んでいる割合は71%と高い数値であり、認知度は高いことが把握できた。 ・特集記事についても新着ニュースや情報ボックス、令和5年度から実施したイベントカレンダーと併せよく読まれていることが把握できた。 ・読みやすさについては、「読みやすい」と「まあまあ読みやすい」を合わせると75%となるが、読みにくいという意見もあるため、工夫・改善が必要である。 ・満足度については、「満足している」が34%、「どちらでもない」が54%、「満足していない」が12%の結果となった。 ・満足度の向上のため、「満足していない」の主な理由である「欲しい情報が見つけづらい」を解消するための工夫・改善が必要である。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・「見つけづらさ」を解消するために、文字量を可能な限り削減し、イラストや二次元コードを多用する等、紙面に余裕を持たせ、見やすさ・読みやすさの向上を目指す。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考 ・引き続き泉南市に関するヒトやモノにスポットを当てた特集記事を掲載し、本市の新たな魅力を発信することで満足度の向上を目指す。
		事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・市民の関心・興味がある情報や市から発信しなければならない情報など広報紙を通して、様々な情報を提供することで、市民の「泉南市」への愛着やシビックプライド等の醸成につなげる。 ・引き続き泉南市に関するヒトやモノにスポットを当てた特集記事を掲載し、本市の新たな魅力を発信することで満足度の向上を目指す。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 21 シティプロモーション		新規		担当課名	ふるさと戦略課			指標名 泉南市公式LINEアカウントの有効友だち登録者数												備考		
○ 主な取組 ① インナープロモーションの推進 ② アウタープロモーションの推進		継続	○	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
事務事業名	ウェブサイト等運営管理事業	ソフト	○	予算	科目	2	1	3	目標	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000	18,500	19,000	19,500	20,000	20,500	人		
<事業概要> 広報ツールである市ウェブサイトの運営管理や、SNSツールを活用し、市政情報を広く市民の方に知ってもらう。		ハード		細目	02-ウェブサイト等運営管理事業			実績	17,000	18,700												
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	106.3%	113.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		泉南市公式 SNS 運用方針						達成度	A	A												

令和6年度 事務事業実績 Do 2																											
<p>主な事業内容</p> <p>1 ウェブサイト運営管理事業 ・市政情報を集約しているウェブサイトについて、随時更新を行い、常に最新情報の発信に努めた。 ・災害時に緊急情報を迅速に提供できるよう防災アプリとの連携を行った。 ・支障なく円滑に情報発信が出来るよう、また容易に閲覧が出来るよう維持管理を行った。</p> <p>2 SNS運営管理事業 ・広報紙や市ウェブサイトと連動し、市の施策やイベント、また市政に関わる情報を発信した。 ・市公式LINEで必要な情報が容易に入手できるようLINEの機能拡張を行った。 ・各種SNSの登録者数を増やす取組を行った。 X: 763(R5)→812(R6) Facebook: 1,215(R5)→1,277(R6) LINE: 17,902(R5)→18,665(R6) Instagram: 793(R5)→1,106(R6)</p>																											
<p>事業の財源</p> <table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3,698千円</td> <td>府支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,600千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>155ページ</td> <td>一般財源</td> <td>1,098千円</td> </tr> </table>		決算額	国庫支出金	0千円	3,698千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	2,600千円	決算書ページ	155ページ	一般財源	1,098千円												
決算額	国庫支出金	0千円																									
3,698千円	府支出金	0千円																									
	市債	0千円																									
	その他	2,600千円																									
決算書ページ	155ページ	一般財源	1,098千円																								
<p>職員数/人件費</p> <table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>0.50人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>0.00人</td> <td>4,523千円</td> </tr> </table>		正職員	0.50人	正職員以外の その他職員	0.00人	4,523千円																					
正職員	0.50人	正職員以外の その他職員	0.00人	4,523千円																							

令和8年度 実施計画
→令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価																																																																					
<p>事務事業の改善内容</p> <p>Check 3</p>		<p><成果・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 常にウェブサイトの更新を行い新着情報や募集情報、イベントカレンダーやショートカット設定など市政情報が広く市民の目に触れる機会を増やした。 各種SNSの特徴や対象者を考慮した情報発信を行った。 ウェブサイトの閲覧者数や各種SNSのフォロワー・登録者数等を獲得していくことが課題である。 		<p>令和7年度の改善の取組</p> <p><改善内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトの閲覧者数を獲得するため、常に最新情報を発信し、また広報せんなんにおいても二次元コードを多用しウェブサイトへの誘導を促す。 各種SNSのフォロワー数を増やすために市主催のイベント等において周知啓発し、また可能な範囲でノベルティを用いた獲得を目指す。 今後も引き続き本市への関心や誇りの醸成につなげるためウェブサイトや各種SNSの特性を生かした情報発信を行う。 		Action 4		<p>令和8年度以降の事業の方向性と取組</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業の方向性</th> <th colspan="4">事業の方向性と取組の内容</th> </tr> <tr> <td>1 現状維持</td> <td></td> <td colspan="4">ウェブサイトを各種SNSを活用し、市の施策や魅力を積極的に発信し、本市への関心や愛着・誇りの醸成を促進する。</td> </tr> <tr> <td>2 見直して継続</td> <td></td> <td>重点化</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>手段改善</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>効率化(コストダウン)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>規模縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業統合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 休止・廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 完了</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				1 現状維持		ウェブサイトを各種SNSを活用し、市の施策や魅力を積極的に発信し、本市への関心や愛着・誇りの醸成を促進する。				2 見直して継続		重点化						手段改善	○					効率化(コストダウン)						規模縮小						事業統合				3 休止・廃止						4 完了						備考	
事業の方向性		事業の方向性と取組の内容																																																																			
1 現状維持		ウェブサイトを各種SNSを活用し、市の施策や魅力を積極的に発信し、本市への関心や愛着・誇りの醸成を促進する。																																																																			
2 見直して継続		重点化																																																																			
		手段改善	○																																																																		
		効率化(コストダウン)																																																																			
		規模縮小																																																																			
		事業統合																																																																			
3 休止・廃止																																																																					
4 完了																																																																					

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標																								
○ 施策 21 シティプロモーション		新規		担当課名	プロモーション戦略課									指標名				定住意向				備考						
○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進		継続	○	会計名	一般会計									R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	今後、DXの推進等により簡便に市民意識調査が実施できるようになった場合、年次ごとの目標値を設定する。			
事務事業名 シティプロモーション推進事業		ソフト	○		予算	款項目		16-シティプロモーション推進事業																		目標	64.4	64.4
<事業概要> 誘客連携イベント等によってにぎわい(関係人口・交流人口)を生み出し、認知度を向上させ、経済活動の活性化を促します。また、民間企業と連携し、地域課題の解決、地域の活性化を推進します。		ハード		細目									実績	-	53													
事業に関連するSDGs		市単独	○			(関係法令・市条例・計画等)							達成率	-	81.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
													達成度	-	A													
令和6年度 事務事業実績 Do 2																												
主な事業内容																												
事業の財源		決算額		国庫支出金		0千円		府支出金		0千円		市債		0千円		其他		11,216千円		決算書ページ		168ページ		一般財源		323千円		
職員数/人件費		正職員		1.10人		正職員以外の その他職員		0.00人		9,950千円																		

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

※令和7年度シティプロモーション推進事業44,154千円のうち、プロモーション戦略課分を記載。



令和6年度 事務事業評価		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組				備考	
事務事業の改善内容	<成果・課題> 作成したグッズはプロモーションの機会を逃さず、ほぼ活用できた。一部は近隣の活用の機会に留まらず遠方の方にも手に取っていただけるよう、ふるさと納税などへも出品した。 現在、トップセールスの機会やイベントでのプロモーションの機会などに活用できるものは揃っているが、子ども向けに特化したものは少なく、ファミリー向けのイベント時に配布できるものが少ないのが課題である。 Check 3	<改善内容> 令和7年度は、泉南市のオリジナルコーヒーに加え、ピクニックラグやキャラクター鉛などファミリー層に向けてプロモーションできるものも制作していく。		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
				1 現状維持	○	令和5年度、令和6年度に作成したコーヒーのラベルは現在在庫があるため、引き続き令和8年度も作成できるが、残りのグッズについては、明確にターゲット層を考え、その機会に適したものをプロモーションできるよう作成し、泉南市の魅力発信に努める。				
				2 見直して継続						
				重点化						
				手段改善						
効率化(コストダウン)		3 休止・廃止								
規模縮小		4 完了								
事業統合										

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 **『しくみ』をつくる・運営する ○ 施策 21 シティプロモーション ○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進		事業区分 新規 ○ 担当課名 連携戦略課 継続 ○ 会計名 一般会計 ソフト ○ 予算 科目 2 1 9 ハード ○ 細目 20-万博推進事業 市単独 (関係法令・市条例・計画等)		事務事業に関する活動指標 指標名 本市における万博推進事業の取組認知度(%) R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 目標 30.0 30.0 30.0 % 実績 - 28 達成率 - 94.7% 0.0% 達成度 - A												備考
事務事業名 万博推進事業 事業に関連するSDGs				万博機運醸成イベントの来場者アンケート(回答者数115名)における市の取組(3項目)認知度の単純平均												
<事業概要> 2025年大阪・関西万博(以下、万博)の開催に向けて、市内や近隣市町との連携を図りながら機運の醸成を図る。また、万博の開催を契機として、まちの賑わいを継続的に創出しシビックプライドを醸成するため、プロモーションを推進する。加えて、万博と関連して国際交流を促進するため、姉妹都市提携を結ぶフィリピン共和国や同国ダバオ市との連携事業を実施する。																
令和6年度 事務事業実績 Do 2																
主な事業内容 ・地域連携イベントの開催 企業・団体と連携し、以下の機運醸成イベントを開催した。 ①TEAM EXPO FES in SENNAN(4/20-21) / ②ウミガメを待つビーチ(11/17) / ③いきいき健康EXPO(12/7) / ④SENNAN PHILIPPINE EXPO(3/22) ・フィリピン共和国との交流 以下のとおり関係者等との交流を行った ①在大阪フィリピン共和国総領事館主催のバビロンお披露目式に参加(7/24) / ②本市小中学生とダバオ市内小学校生徒とのオンライン国際交流を実施(西信達中学校・信達小学校・新家東小学校・鳴滝小学校×2日間) / ③一丘小学校でフルーツやおノマトベをテーマにしたダバオ市との文化交流事業を実施 ・万博関連グッズの作成・プロモーション 以下の関連グッズを作成し、学校やイベントでの配布等を行い、機運醸成を図った。 ①メモ帳 / ②クリアファイル / ③ネックストラップ(職員向け) ・大阪ウイーク 自治体参加催事への参加 大阪府・市万博推進局主催大阪ウイーク及び万博首長連合主催LOCAL JAPAN展の出展に向けた調整を進めた。 ・大阪の子どもたちの万博会場への招待事業 広報紙やSNSを活用し積極的に広報活動を行った ①区長会での回覧依頼(2月) / ②広報せんなん(8-11月号) / ③LINE・Facebook・X・Instagramでの発信(9-2月) / ④学校を経由した児童・生徒へのチラシ配布(9-2月)																
事業の財源 決算額 14,672千円 国庫支出金 0千円 府支出金 1,000千円 市債 0千円 その他 13,672千円 決算書ページ 168ページ 一般財源 0千円																
職員数/人件費 正職員 0.80人 正職員以外のその他職員 0.40人 8,644千円																

令和8年度 実施計画
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価														
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 多くの民間団体との連携により、機運醸成イベントやグッズ作成等の事業を展開し、万博に対する機運醸成を行う事ができた。また、府市推進局や万博首長連合との企画調整や情報収集を行う事により、大阪ウイークやLOCAL JAPAN展の出展内容を具体化することができた。さらに、内閣府国際博覧会推進本部事務局による万博国際交流プログラムにおける交流計画が採択された。当該計画に基づき、フィリピン共和国や同国ダバオ市との各種国際交流事業を実施することにより、多文化交流を促進し、子どもたちを中心とした市民の異文化理解を促進することができた。 一方、大阪の子どもたちの万博会場への招待事業については、他自治体と比較して申請率が低かった。		令和7年度の改善の取組 Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 ○ 事業統合 3 休止・廃止 4 完了						事業の方向性と取組の内容 2025年大阪・関西万博の開催は令和7年度に終了するが、その後も市に残るレガシーの継承について検討する。		備考



第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		再掲	
○ 施策 21 シティプロモーション			
○ 主な取組 ② アウタープロモーションの推進			
事務事業名 誘客連携による地域活性化事業 事業に関連するSDGs <事業概要> 地方創生推進交付金を活用し、事業に参画する市町村と情報を共有することのできるプラットフォームを整備し、広域連携による市町村間相互の観光交流促進と観光消費拡大を図る。	事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 プロモーション戦略課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 6 1 5 ハード <input type="checkbox"/> 細目 04-誘客連携による地域活性化事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等)		事務事業に関する活動指標 指標名 定住意向 目標値 実績 達成率 達成度
令和6年度 事務事業実績 Do 2 主な事業内容 ○観光プロモーション 泉南ロングパークを核としたイベント:19件 その他市内開催イベント:11件 動画制作:2件 商品開発:1件 アンバサダー関係:2件 公民連携:1件 雑誌掲載:1件		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定	
事業の財源 101,460千円 決算書ページ 264ページ		国庫支出金 49,863千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 51,597千円 一般財源 0千円	
職員数/人件費 正職員 3.25人 正職員以外の その他職員 0.00人 29,396千円		方向性	

評価

令和6年度 事務事業評価			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 各事業の効果や実績を検証すべく、令和6年度に作成した経済効果測定ツールを活用し、経済効果を測定した。実施するイベントの特色や効果について当初設定していたKPIの達成度と合わせて検証していく。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和6年度は「誘客連携による地域活性化事業」内の4シーズンの内の代表的なイベントの測定を実施し、おおよその経済効果を測定した。令和7年度も引き続き経済効果を測定し、令和8年度以降の交付金終了後の事業実施を見据えた自走化に向け、より効果的なイベントの実施に努める。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容 1 現状維持 2 見直しで継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了
	備考 令和3年度から5年間計画で実施されていた交付金が令和7年度で終了し、交付金で実施していたイベント内、より持続性のあるイベントを選定し、自走化を実現させる。		

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	総合	『しくみ』をつくる・運営する	施策に関連するSDGs										①情報政策の推進
施策	22	情報政策(DX)	 										
目指すまちの姿	誰一人取り残さない、デジタルでつながる便利で安全・安心なまち												②デジタルリテラシーの向上
施策に関する成果指標	先端技術をまちづくりに取り入れながら、デジタル人材の育成・確保や、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進め、誰一人取り残すことなく、暮らしやすく、便利で安全・安心なデジタル社会の実現に取り組みます。												
施策に関する成果指標	指標項目				基準値(R3)				目標値(R14)		備考		主な取組 ◇市民がデジタルを活用できるようにするための環境整備を進め、デジタルデバイドの解消を図ります。 ◇市職員のデジタルリテラシーの向上に向けた教育・研修等を行います。
	オンライン手続利用率				-				65.05%		※地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続(58手続)のオンライン化率		
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考	
	目標	20.00	25.00	30.00	35.00	40.00	45.00	50.00	55.00	60.00	65.05		
	実績	33	35										
達成率	165.0%	140.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】													所管部局評価
総合-22-① 住民情報記録システム事業【行政経営部】 総合-22-①、② 行政LAN事業【行政経営部】													【行政経営部】 取組① 泉南市電子申請システム(スマート申請)やマイナポータルのぴったりサービスを活用し、オンライン手続きの拡大を図った。引き続き住民の利便性向上及び職員の事務効率化のため、オンライン申請の促進に努める。 取組② デジタル機器に不慣れな方をはじめ広く市民がデジタル化の恩恵を受けられるよう、民間企業と連携したスマートフォンの操作方法や電子申請による各種行政手続の利用方法に関する講座を実施した。(市役所やイオンモールりんくう泉南など7施設で計11日間、府内初の車両内でのオンラインによる少人数でのスマートフォン講座) デジタル化を推進するにあたり、引き続きデジタルデバイス対策に取り組んでいく。

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 22 情報政策 (DX)		新規		担当課名	オンライン手続利用率											備考			
○ 主な取組 ① 情報政策の推進		継続	○	会計名															
事務事業名	住民情報記録システム事業	ソフト	○	款項目	2	1	10												
<事業概要> 住民情報記録システムの安定的な運用を図るとともに、標準化標準システムへの移行により、業務効率化及び住民の利便性の向上に取り組む。		ハード	○	細目	03-住民情報記録システム事業														
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)															
		泉南市DX推進計画																	
		指標名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
		目標		20.00	25.00	30.00	35.00	40.00	45.00	50.00	55.00	60.00	65.05	%					
		実績		33	35														
		達成率		165.0%	140.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
		達成度		A	A														

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 住民情報記録システム事業 ・住民情報記録システムの運用保守 ・標準化システムへの移行検討 ・ガバメントクラウド接続回線及び運用管理補助事業者の調達 ・電子申請システム(スマート申請)の運用 ・かんたん窓口システムの運用(市民課・保険年金課・長寿社会推進課、家庭支援課)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																				
事業の財源 決算額 119,263千円 決算書ページ 171ページ		国庫支出金	16,118千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	103,145千円											
職員数/人件費		正職員	1.01人	正職員以外の その他職員	0.16人	9,699千円																

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> (事業の成果) 住民情報記録システムの安定稼働に努め、住民へのサービス提供及び行政事務の効率化に寄与した。 1 住民情報記録システム基幹部の運用管理 2 自治体中間サーバーの整備・運用 3 情報連携システムの運用 4 かんたん窓口システムの運用 (課題) 戸籍システム及び障害福祉システムについて、現行ベンダのリソース不足により、目標期間である令和7年度末までに標準標準システムへの移行が不可能となった。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 政府が移行経費を含めて令和12年度末まで延長して支援する特定支援システムの枠組みを利用し、標準標準システムへの移行が完了するまでの間、過渡期連携を行う必要がある。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 ガバメントクラウド環境に構築した標準標準システムの運用管理を行い、システムの安定的かつ効率的な運営を図る。 また、特定移行支援システムの枠組みで国の延長支援を受けることとなった2システムとの過渡期連携を行う。	備考
----------------------	--	--	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 22 情報政策 (DX)		新規		担当課名	デジタル推進課			指標名	オンライン手続利用件数											備考	
○ 主な取組 ① 情報政策の推進 ② デジタルリテラシーの向上		継続	○	会計名	一般会計			目標値	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 行政LAN事業		ソフト	○	款項目	2	1	10		目標	30	80	130	140	150	160	170	180	190	200		件
<事業概要> 職員が利用する情報系ネットワーク(SGLN)の運用及びデジタルトランスフォーメーションを推進し、便利で安全・安心なデジタル社会の実現に取り組む。		ハード	○	細目	04-行政LAN事業				実績	13	106										
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			達成率		43.3%	132.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		泉南市DX推進計画						達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容		1 デジタル化に関する事業 ・電子申請システムの利用拡大 ・電子申請フォームの作成補助を実施(4課・8件) ・DX推進員の任命(令和6年度:36名) ・デスクトップパソコンからノートパソコンへ段階移行(150台) 2 デジタルデバйд対策事業 ・スマホ講座の開催(全11回、述べ71人) 3 情報セキュリティ対策 ・特定個人情報の取扱い状況に関する内部監査の実施(6課)																		
事業の財源		決算額	83,381千円	国庫支出金	0千円	府支出金	191千円	市債	0千円	その他	0千円	決算書ページ	171ページ	一般財源	83,190千円					
職員数/人件費		正職員	3.41人	正職員以外の その他職員	0.84人	33,801千円														

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定


評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
<成果・課題> (事業の成果) ・庁内及び出先機関を行政ネットワークで結び、行政情報の通信インフラや事務事業を助けるICT基盤システムとして活用し、業務の効率化を図った。無線LANを利用可能なノートパソコンの導入により、ペーパーレス化や業務効率化について一定の成果がでている。 ・電子申請システムにより申請可能な行政手続きを拡充し、市民サービスの向上と業務の効率化を図った。 (課題) 新しいシステムの導入や端末機器の調達にあたっては、費用の低減に努めながら、業務の効率化とセキュリティ対策の充実・強化を図っていく必要がある。		<改善内容> 令和6年度に引き続き、適正な価格を見極めながら業務用端末をデスクトップからノートパソコンへ移行を進め、無線LANの活用による業務効率向上と会議でのペーパーレス化を図っていく。		1 現状維持	○	人口減少に伴い職員数の減少が避けられない中、持続可能な行政サービスを提供し続けるために、AIやRPAなどのデジタル技術の活用を検討する。行政事務の効率化等による業務改革や市民の利便性の向上を図り、職員が時間と場所を有効活用した柔軟な働き方を推進するとともに、職員でなければできない業務に注力できる「次世代型市役所」へ転換を図っていく。 ※RPA(Robotic Process Automation) ソフトウェアロボットやAIを活用し、人が行っている定型な業務を自動化するもの。		
Check 3				2 見直して継続				
				重点化				
				手段改善				
				効率化(コストダウン)				
				規模縮小				
				事業統合				
				3 休止・廃止				
				4 完了				

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	総合	『しくみ』をつくる・運営する	施策に関連するSDGs									
施策	23	行財政運営										
目指すまちの姿	持続可能で安定した行政サービスを受けられるまち 安定的な財源確保や、効率的・効果的な行財政運営に努めるとともに、近隣市町との連携を検討しながら、行政の広域化に取り組むなど、持続可能で安定した行政サービスを提供します。											
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)				目標値 (R14)				備考	
	経常収支比率(過去3年間の平均値)		96%				95.0%未満					
	進捗状況											
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
	目標	95.3	95.3	95.2	95.2	95.1	95.1	95.0	95.0	94.9		
	実績	97.3	99.1									
達成率	97.9%	96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
達成度	A	A										
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)				目標値 (R14)				備考	
	有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)		69.6%				大阪府平均以上				大阪府内市町村の平均値(前年度)を目標値とする(令和3年度府内市町村平均値:64.1%)	
	進捗状況											
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
	目標	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	64.1	大阪府内市町村の平均値(前年度)を目標値とする(各年度の数値が発表されるまでは、暫定的に令和3年度の数値を目標値とする。)実績値は、直近の令和4年度数値とする。
	実績	71.8	71.8									
達成率	89.3%	89.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
達成度	A	A										
掲載事業一覧【所幹部】												
総合-23-① 人事管理・給与支給事業【行政経営部】 総合-23-① 職員研修事業【行政経営部】 総合-23-② 財政運営事務事業【総務部】 総合-23-② ファシリティマネジメント推進事業【公共施設再編室】 総合-23-② ふるさと寄附推進事業【成長戦略室】 総合-23-② 公民連携推進事業【成長戦略室】												
所管部局評価 【行政経営部】 取組① 新たな人事評価システムの導入などにより、人事評価の運用を進めるとともに適任な人員配置や人材育成へ活用するためのデータ蓄積に着手した。引き続き適任な人事配置や人材育成に活用できるようデータの蓄積に取り組む。 【総務部】 取組②予算編成方法を見直し、中間レクを導入するなど早期の課題洗い出しを行った。引き続き中長期的な将来推計のもと規律ある財政運営に務める。 【公共施設再編室】 取組② 目標値達成のため、施設の複合化、除却や有効活用など公共施設再編の検討・実施に努めた。引き続き関係各課と連携しながら、ファシリティマネジメントを推進する。 【成長戦略室】 取組② ふるさと納税返礼品のブラッシュアップやPR等により、令和5年を上回る寄附金を獲得した。引き続き、制度を遵守しながら寄附増加による自主財源の確保に努める。												

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 23 行財政運営		新規		担当課名	人事評価業績目標達成率												備考
○ 主な取組 ① 組織の適正化と人材の育成		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名	人事管理・給与支給事業	ソフト	○	款項目	目標	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78		%
<事業概要> 職員の意欲と能力を最大限に引き出す人事制度の効果的な運用を推進するため、人材育成基本方針(令和5年4月改定)に基づき、人材の獲得、育成を進める。また、効果的・効率的な職員体制の構築に向けて、業務内容を精査するとともに、必要な人材の配置をすることにより、最適な職員定数の設定と職員配置に取り組む。		ハード		細目	実績	66	69										
事業に関連するSDGs		市単独	○	02-人事管理・給与支給事業		達成率	109.8%	111.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
8 持続可能な開発目標 16 平和と正義 17 パートナーシップ		(関係法令・市条例・計画等)		地方公務員法、泉南市人材育成基本方針		達成度	A	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	(人事評価制度の改正) ・新たに導入した人事評価システムの運用を開始した。より適正な評価につながるよう評価者を管理職から監督職へ変更した。 (人事評価システムの活用) ・新たに導入した人事評価システムを自己申告制度にも利用し、昇任や人事異動と連動させる等人材育成へ活用するためのデータを蓄積した。 (人事給与システムの検討) ・業務効率化を目指し、人事給与システムの見直しについて検討した。		令和8年度実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
	事業の財源	決算額	14,234千円	国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	其他	250千円	決算書ページ	153ページ	一般財源	13,984千円	
職員数/人件費	正職員	5.00人	正職員以外の 其他職員	2.00人	35,058千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題> 新しい人事評価システムを導入し、人事評価の運用を進めるとともに、適正な人員配置や人材育成へ活用するためのデータ蓄積に着手することができた。今度も本システムを利用し、様々なデータ蓄積を行っていく。 業務の効率化を図るため人事給与システムの見直しについて検討を行ったが、アウトソーシングを検討するまで至らなかった。	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	Check 3	<改善内容> 人事評価システムを人事評価や自己申告だけでなく、職員アンケートの機能を利用するなど、適正な人員配置や人材育成に活用できるようデータの蓄積に取り組む。 あわせて、部長級による組織検討会議を実施し、部内での課題抽出、業務改善等の意見を集約し、組織・業務の改善を検討する。 人事給与システムについては、アウトソーシングも含め、今後のあり方について検討する。	1 現状維持 ○	事業の方向性 事業の方向性と取組の内容		
2 見直して継続	重点化	人事評価システムを人事評価や自己申告だけでなく、職員アンケートの機能を利用するなど、適正な人員配置や人材育成に活用できるようデータの蓄積に取り組む。 あわせて、部長級による組織検討会議を実施し、部内での課題抽出、業務改善等の意見を集約し、組織・業務の改善を検討する。				
手段改善	手続改善					
効率化(コストダウン)	規模縮小					
事業統合	3 休止・廃止					
4 完了	4 完了					

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 <small>※『しくみ』をつくる・運営する</small>		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 23 行財政運営		新規		担当課名	秘書人事課		指標名 研修後のパフォーマンスに対する上司等の評価											備考	
○ 主な取組 ① 組織の適正化と人材の育成		継続	○	会計名	一般会計		目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	フォローアップアンケートの実施にまで至らなかったため、年度と同じ指標とする。
事務事業名 職員研修事業		ソフト	○	算	款項目	2 1 2	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	%	
事業に関連するSDGs		ハード			細目	03-職員研修事業		達成率	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
<事業概要> 泉南市人材育成基本方針に基づき、職階や経験年数、行政課題等に応じた研修を実施するほか、職場研修への支援、自主的な学びの機会の確保といった多様な形式・手法を活用しながら、自ら考え、行動できる自律型の職員の育成、高い能力を有した幹部職員の安定的な確保・育成及び組織力向上に取り組む。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成度	A	A											
地方公務員法、泉南市人材育成基本方針、泉南市職員研修計画																			


令和6年度 事務事業実績 Do 2					
主な事業内容	1. 職員研修事業 ・職員研修計画に基づく研修の実施 (全96回、受講者1,072名) ・職員人権研修計画に基づく研修の実施 (全16回、受講者272名)				
	事業の財源				
決算額	国庫支出金	0千円			
2,795千円	府支出金	0千円			
	市債	0千円			
	その他	120千円			
	決算書ページ	153ページ	一般財源	2,675千円	
職員数/人件費	正職員	0.85人	正職員以外の その他職員	0.00人	7,688千円

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

↑
方向性

令和6年度 事務事業評価			
事務事業の改善内容	<成果・課題>	研修計画に基づき研修を実施し、職員の資質向上・育成に取り組むとともに、実施後はアンケートを実施することで、事業の振り返りを行っている。アンケートでは、職員の気づきや行動の変革につながる機会となったかについて確認している。 行動変容につながっているかを確認するため、研修受講後のフォローアップアンケートの導入について検討した。	令和7年度の改善の取組
	Check 3	<改善内容>	引き続き研修計画に基づいた研修を実施するとともに、まずは派遣研修についてフォローアップアンケートを実施し、職員の育成及び組織力向上に努める。
		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組
		事業の方向性	事業の方向性と取組の内容
	1 現状維持	○	引き続き研修計画に基づいた研修を実施するとともに、すべての研修についてフォローアップアンケートの導入を検討するとともに、アンケートの内容を次年度の研修計画に反映させるなどを行い、職員の育成及び組織力向上に努める。
	2 見直して継続		
	重点化		
	手段改善		
	効率化(コストダウン)		
	規模縮小		
	事業統合		
	3 休止・廃止		
	4 完了		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標												
○ 施策 23 行財政運営		新規	担当課名	指標名										備考		
○ 主な取組 ② 健全な財政運営		継続	会計名	経常収支比率										R5年度実績修正 (R7年度)		
事務事業名 財政運営事務事業		ソフト	款項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	修正理由: 目標値の設定が、3か年平均の経常収支比率に対して、単年の経常収支比率が計上されていたため。	
事業に関連するSDGs		ハード	細目	95.3	95.3	95.2	95.2	95.1	95.1	95.0	95.0	94.9	%			
<事業概要> 毎年度、中期財政計画を更新し、施策や事務事業の選択や集中を進め、規律ある健全な財政運営を行います。		市単独	(関係法令・市条例・計画等)	実績	97.3	99.1								%		
		02-財政運営事務事業		達成率	97.9%	96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		泉南市健全な財政運営に関する条例		達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 財政運営事務事業 ・令和5年度に実施した予算編成方法の評価を実施し、令和6年度の予算編成方法を見直した。具体的には、スケジュールの見直し、政策的・建設事業費の市長・副市長中間レクなどを実施した。 2. 公債費管理事業(元金)(利子) ・市債の発行額を償還額以下に抑制し、残高が減少 発行額 765,996千円 元金償還額 2,282,896千円 差引 △1,516,900千円 ・発行した起債の一部の利率見直し方式を導入した 3. 基金管理事業 ・財政調整基金は標準財政規模の10%を確保				令和8年度実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
事業の財源 決算額 626千円 決算書ページ 157ページ		国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円	一般財源 626千円										
職員数/人件費 正職員 5.00人 正職員以外の その他職員 0.00人 45,225千円													

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> <成果> 予算編成方法を見直したことにより、令和7年度予算の政策的・建設事業費について早期に全庁共有及び課題の洗い出しが出来た。また、利率見直し方式を導入したことで、短期利率によるメリットを享受することができた。 <課題> 上記のとおり、一定の成果を得ることができたが、依然として将来の財政運営は施設の老朽化対策に係る建設事業費の増加などにより厳しい状況が予想される。また、建設事業費の増加に伴い義務的経費である公債費が増加し、財政の硬直化が懸念される。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 持続可能な行財政運営を行うために、令和8年度歳入額に見合った歳出予算を計上する予算編成手法を取り入れる。 また、市債発行については金利見直し方式を導入を行うとともに、財源措置のある起債は積極的に事務費(人件費)に対しての発行を推進する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	備考	
Check 3		事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 すべての事業について、予算編成にあたっては、より必要性や効率性を吟味し、中長期的な将来推計のもと、持続可能な行財政運営を目指す。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 ② 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 23 行財政運営		新規		担当課名		公共施設再編課		指標名 有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)												
○ 主な取組 ② 健全な財政運営		継続		○		会計名 一般会計		備考 大阪府内市町村の平均値を目標値とする(各年度の数値が発表されるまでは、暫定的に令和3年度の数値を目標値とする。)												
事務事業名 ファシリティマネジメント推進事業		ソフト		○		予算 2 1 8		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 %												
事業に関連するSDGs		ハード		○		04-ファシリティマネジメント推進事業		目標値												
<事業概要> 泉南市公共施設等最適化推進基本計画(平成27年度)、同推進実施計画(平成28年度)、個別施設計画(令和2年度)に基づき、老朽化や耐震化に問題のある公共施設等の建替・改修の必要性を判断しながら、施設の複合化、集約化等を民間活力も視野に入れて中長期の視点に立った公共施設等の最適化の推進を図る。		市単独		○		(関係法令・市条例・計画等)		達成率 89.3% 89.3% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%												
		公共施設等最適化推進基本計画、公共施設等最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画						達成度 A A												

令和6年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

主な事業内容 1. 西信達小学校跡地活用事業 ○庁内検討会議 4回 ○関係者(鉄道事業者、地元)協議 6回 ○民間事業者ヒアリング 6社 ○庁内協議 2. 旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校跡地活用事業 ○除却設計 ○地元協議 3回 ○民間事業者協議 2回 ○庁内協議 3. 公共施設再編(複合化・集約化)検討 ○庁内研修 1回 ○庁内会議 4. 旧浜保育所廃止 ○近畿財務局協議 3回 ○庁内協議		事業の財源 決算額 23,926千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 162ページ 一般財源 23,926千円		職員数/人件費 正職員 3.60人 正職員以外のその他職員 1.00人 36,083千円		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> ・西信達小学校跡地活用については、地域住民のニーズや関係機関・庁内関係部署との検討結果を踏まえ、その活用方向性を示す基本構想を策定したが、周辺道路等の環境の改善策の検討を継続する必要がある。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校跡地活用については、地域関係者等と協議しながら、地域特性を踏まえた最適な活用について、施設の除却設計を実施し、その活用策の協議を行った。 ・公共施設再編(複合化等)については、市役所など主要施設の現地調査を実施するとともに、再編検討に必要な資料を作成し、庁内関係者間で検討結果を共有のうえ、再編方向性などの検討・協議を行った。その検討・協議結果を踏まえ、公共施設マネジメント関連計画改定等に着手し、事業実現性の高い施設再編を定める必要がある。 ・旧浜保育所跡地については、庁内関係者間で協議し、活用の方向性を定めたが、施設除却後の当該地の取扱い等については、施設所管課と活用予定課が密に連携し、国等との協議を円滑に進める必要がある。 ・跡地を含めた資産の有効活用については、令和6年度検討した庁内統一的基本方針や活用の方策の早期運用に向け、庁内周知・機運を高める必要がある。 ・老人集会所のあり方について、所管部署により地元ヒアリングを実施。そのヒアリング結果を踏まえ、あり方方針を策定したが、施設コストなど必要な情報を追加し、方針を完成させる必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 西信達小学校跡地活用については、岡田駅駅等バリアフリー化と連携し、地域住民の意向を踏まえ、周辺道路等の最適な環境改善策を関係機関と検討・協議するとともに、令和6年度策定した基本構想の活用方向性をもとに、跡地整備プランをさらに具体化した基本計画を策定する。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校跡地活用については、地域関係者と協議継続しながら、地域特性を踏まえた最適な活用について、施設の除却を実施するとともに、その活用策を引き続き検討する。 ・公共施設再編については、令和6年度の市役所など主要施設の調査結果をもとにした庁内検討協議を踏まえ、関連計画等を改定し、財政シミュレーションとも連動しつつ再編を検討する。なお、施設の複合化等の検討については、庁舎のあり方検討会議などと連携しながら、庁内関係者間においてきめ細かい協議を行う。 ・資産の有効活用については、令和6年度検討した基本方針と活用の方策を早期運用するため、庁内合意のうえ、関係部署と連携し対象財産の抽出など必要な準備を行う。 ・老人集会所については、あり方方針を早期に策定し、地元協議や集約化など方針に基づき再編を推進する。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直しで継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		備考 ・西信達小学校跡地活用については、基本計画に基づく事業を推進するため、地域や大阪府等関係機関と引き続き協議し、周辺道路等環境の改善や跡地整備を推進する。 ・旧鳴滝幼稚園・鳴滝第一小学校については、除却後の活用策を引き続き検討し、必要に応じて基本構想・計画策定に着手する。 ・公共施設再編については、令和7年度に引き続き関連計画の改定等を行うとともに、当該計画に基づく事業として、市役所など主要施設再編(複合化等)の検討を引き続き行い、基本構想・基本計画の策定に着手する。 ・資産の有効活用については、基本方針などに基づき、その活用をさらに推進する。 ・老人集会所については、関係部署と連携し引き続き再編に向けた取組をさらに推進する。	
--	--	--	--	--	--	--	--

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 23 行財政運営		新規		担当課名	ふるさと戦略課										備考						
○ 主な取組 ② 健全な財政運営		継続	○	会計名	一般会計																
事務事業名 ふるさと寄附推進事業		ソフト	○	款項目	2	1	9	ふるさと寄附推進事業						単位							
事業に関連するSDGs		ハード		細目	04-ふるさと寄附推進事業										億円						
<事業概要> 本市へのふるさと納税の推進を図り、よりよいまちづくりを目指すとともに、市内産業等の活性化に寄与することを目的とし、寄附者に対して地元特産品等を返礼品として贈呈する。 また、企業に対しては本市事業への寄附を募ることで、自主財源を用いての事業実施を可能とする。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)																	
		地方税法、泉南市ふるさと泉南応援寄附条例																			
令和6年度 事務事業実績 Do 2																					
主な事業内容 1.ふるさと寄附推進事業 ・新規事業者の開拓(17事業者) ・返礼品の拡充(新規返礼品366品) ・ポータルサイトの追加(4件) ・ポータルサイト上での特集記事の作成及び改修(10件) ・寄附件数(95,178件) ・企業版ふるさと納税の寄附件数(10件) ・企業版ふるさと納税の寄附金額(17,020千円)												令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
事業の財源 決算額 575,158千円 決算書ページ 164ページ		国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	575,158千円										
職員数/人件費		正職員	0.90人	正職員以外の その他職員	1.60人	13,774千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価													
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 新規事業者開拓では、令和5年度からの継続したアプローチにより、17事業者が返礼品を提供する泉南市ふるさと納税サポート事業者制度に参画した。返礼品提供事業者及び新規返礼品の拡充を行ったが、寄附件数は令和5年度より3,172件減少した。リピーターの獲得や新規寄附者の獲得が今後の課題となる。 企業版ふるさと納税においては、令和5年度を大きく上回る寄附実績となった。今後は、さらに募集する事業を増やし、中間事業者も活用したPRを行っていく必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> リピーター及び新規寄附者の獲得に向けて、新たなPRを実施する。 また、泉南市の魅力ある返礼品創出を目指し、さらなる事業者開拓及び返礼品の拡充を行う。 企業版ふるさと納税について、マッチング会等へ参加し、泉南市の魅力ある事業を企業へPRすることで、寄附につながる動きかける。		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 事業の方向性と取組の内容					備考	
						1 現状維持	さらなる寄附獲得を目指し、中間事業者との密なやり取りを行い、寄附傾向に合わせた取組を行う。また、事業者との関わりを通して、泉南市の魅力の一つとなる返礼品を創出する。						
						2 見直して継続	企業版ふるさと納税について、マッチング会等へ参加し、泉南市の魅力ある事業を企業へPRすることで、寄附につながるよう動きかける。						
						重点化	○						
						手段改善							
						効率化(コストダウン)							
						規模縮小							
						事業統合							
						3 休止・廃止							
						4 完了							

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 [※] 『しくみ』をつくる・運営する		事業区分				事務事業に関する活動指標													
○ 施策 23 行財政運営		新規	○	担当課名	連携戦略課	指標名	定住意向										備考		
○ 主な取組 ② 健全な財政運営		継続		会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名	公民連携推進事業	ソフト	○	予算	款項目	2	1	9	目標	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	64.4	66.9	件	
事業に関連するSDGs		ハード			細目	22-公民連携推進事業			実績	53									
<事業概要> 効果的かつ効率的な行政運営やさらなる市民サービスの向上を実現し、持続可能なまちづくりを推進するためのベースとなる仕組みを作る。また、本市が抱える行政課題を民間事業者とともに解決するため、実証実験で成果を得た事業について実施する。さらに、トップセールスやマッチングイベント出展により、民間企業へのアプローチを図り、積極的な民間投資の獲得に努める。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			目標値	達成率	82.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		泉南市公民連携推進によるまちづくり基本指針																	

令和6年度 事務事業実績 Do 2																			
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・R6実証実験 多言語通訳サービス端末6台を使用して市窓口や学校・保育現場で実証実験を行った。 ①実施期間：R6.7.1～R6.11.30 / ②貸与先：市民課、障害福祉課、教育サービス課、子ども総合支援センター、くすのき幼稚園、おおぞら幼稚園、鳴滝小学校、西信達小学校、なるっこ認定こども園、保健推進課 ・トップセールス 企業3社に企業版ふるさと納税等に関するトップセールスを実施した。 ・マッチングイベントへの出展 大阪都市計画局主催「まちづくり自治体 ビッチ&マッチング」(1/24開催、民間企業等132名参加)に登壇し、本市の課題を発信した。また、スタートアップ企業が登壇するマッチングイベントや各種交流会へ出席し、人脈形成・情報収集を行った。 ・公民連携によるまちづくり基本指針に関連する取組 民間事業者及び本市職員が対象の公民連携研究会を3回、管理職研修を1回開催し、泉南市公民連携推進によるまちづくり基本指針を策定した。 																	
事業の財源		決算額	1,404千円	国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	1,404千円	方向性							
職員数/人件費		決算書ページ	169ページ	一般財源	0千円														
		正職員	0.70人	正職員以外の その他職員	0.40人	7,740千円													

令和8年度 実施計画
→令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価											
事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組			Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組				備考	
<成果・課題> 多言語通訳サービス実証実験については、当初窓口での運用を主に想定していたが、窓口での利用回数は伸び悩んだ。しかし、学校教育現場等で短期間使用したという新たなニーズの掘り起こしにつながった。また、マッチングイベントや交流会の機会を積極的に活用し、多くの企業関係者との人脈形成を行い、実証実験の実施に向けて調整を進めている各種案件につながっている。さらに、公民連携研究会や管理職研修により民間事業者・本市職員の公民連携に対する理解を深め、研究会・研修会で出た意見も取り入れた「泉南市公民連携によるまちづくり基本指針」を策定した。		<改善内容> 民間提案制度・公民連携プラットフォームの創設を進め、本市の課題発信を行い、民間事業者等からの提案を受け付ける体制を整備する必要がある。さらに、マッチングイベントや交流会に積極的に参加することにより市の課題発信や情報収集を行い、提案の獲得につなげていく。			1 現状維持	○	令和7年度に引き続き民間提案制度・公民連携プラットフォームにより、幅広く民間事業者等からの提案を受け付け、効率的・効果的な課題解決を図る。				
Check 3					2 見直して継続						
					重点化						
					手段改善						
					効率化(コストダウン)						
					規模縮小						
					事業統合						
					3 休止・廃止						
					4 完了						